

循環経済の立法上の定義と内包

中国人民大学法学院 李艶芳

はじめに

循環経済とは、自然資源とエネルギーの投入の減少、クリーンプロダクションの展開、製品のライフサイクルの延長、資源・エネルギー利用効率の向上、廃棄物総合利用および重複使用などの措置と手段の展開、資源・エネルギーの生産および消費領域における浪費の減少を通して、企業、企業間、および社会全体の資源・エネルギー利用の最適化を実現し、資源・環境に対する圧力を軽減する経済発展のモデルである。

第一、循環経済は一種の成長方式あるいは経済発展モデルである。

循環経済については、「生態経済説」と「経済発展モデル説」がある。

まず、私は循環経済を生態経済と定義することに賛成しない。「いわゆる循環経済は、クリーンプロダクションと廃棄物（排泄物）の総合利用を一体的に融合させた経済であり、本質上、一種の生態経済であり、生態学の法則の運用により人類社会の経済活動を指導することを要求する。」（曲格平）

生態学の法則の運用により指導する経済活動は生態経済か否か？

人類社会の経済活動が遵守するのは経済法則か、あるいは生態法則か？

生態経済の命題は成立するか否か？生態農業や生態工業こそが生態経済か？

次に、私は循環経済を「産業発展モデル」あるいは「経済形態」とであると定義することに賛成しない。産業発展モデルと経済形態はともに、異なる角度から循環経済を見たものであり、ある程度、循環経済が内包するものを反映しているが、それらは循環経済に対する最適な位置づけとなっていない。経済形態と産業発展モデルは狩猟経済、農耕経済、工業経済、知識経済などの経済形態と相関がある。もし、循環経済が産業発展のなかである位置を占めるのであれば、それは産業の持続可能な発展を保障することにある。私は、循環経済を経済成長モデルあるいは経済発展モデルとして位置づけることに賛成である。

経済発展モデル論とは、「循環経済は、ある種、資源の高効率利用と循環利用を核心とし、減量化、再利用、資源化を原則とし、低消費、低排出、高効率を基本特徴として、持続可能な発展理念に符合する経済成長モデルであり、「大量生産、大量消費、大量廃棄」という伝統的な成長モデルの根本的な変革である。」（馬凱）

循環経済は伝統的な経済成長モデルの改変であり、粗放型の経済を集約型の経済に改変する一種のモデルであり、資源利用モデルの改変である。

第二、循環経済の範囲は静脈産業の循環と動脈産業の循環を包摂する。

あるひとは、循環経済の範囲を単に静脈産業だけを含み、動脈産業を含んでいないととらえている。先進国の循環経済は静脈産業の循環、すなわち廃棄物の総合利用と循環使用を指しており、自然資源の開発利用に対する動脈産業を含んでいない。

中国の状況は、国外とは異なる。わが国は自然資源利用率上、先進国と比較的大きな差異があり、資源の投入を減らし、資源利用率を向上させることが、循環経済が登場する主要な背景であり、循環経済を発展させる意義となっている。そのため、わが国の循環経済は動脈と静脈産業の統一であるべきである。2005年に温家宝総理も第10期人民代表大会第3回会議の政府活動報告のなかで、「循環経済を大いに発展させる。資源の開発・採掘から、生産・利用、廃棄物利用と社会消費などの各段階において、資源総合利用と循環利用の推進を加速する。」と強調している。

第三、循環経済の段階として、企業、企業間および社会全体の循環がある。

企業内部の循環（ミクロ循環）は、主に企業がクリーナープロダクションの展開を通して、原材料の投入を減らし、廃棄物の発生量を減らし、製品の寿命をのばすことを指す。企業の間における循環（地域循環あるいはメソ循環）は、主に企業の間における物質の集積、エネルギーの集積および情報の集積を通して、工業代謝と共生関係を形成することである。社会全体の循環（マクロ循環）では、政府と公民がすべて循環経済の構築に責任を有する。政府の責任は、外部から循環経済の形成に対する制度的な支持を行い、循環経済の形成を推進することであり、他方、公衆は自らの行動（包装、ごみの分別や再使用など）を通して直接循環経済に参加する。循環経済は工業、農業、都市、農村、生産、消費など多くの領域に浸透する。循環経済（という概念）をクリーナープロダクションと同じとすることには議論の余地がある。

第四、循環経済の発展の具体的な方法。

それは資源とエネルギーの投入を減らし、クリーナープロダクション、エネルギー利用効率の向上、廃棄物総合利用の展開、製品の再利用と循環使用を含んでいる。これらの措置と方法は3R（減量、再利用、リサイクル）と一致している。いわゆる3Rは循環経済を発展させるための措置であり、原則ではない。

第五、循環経済の目標。

循環経済の直接的な目標は、資源エネルギー利用の最適化および環境への圧力の軽減である。（目標は）資源エネルギー利用の最大化か？経済活動のエコロジー化か？資源利用の最適化か？私は循環経済の目標として資源利用の最適化という見方に賛成である。長期目標は資源節約型で環境にやさしい社会である。循環経済の発展は資源節約型で環境にやさしい社会を構築するための措置であり、あるひとは「金の鍵」と比喻する。

（翻訳：大塚健司、監修：片岡直樹）